

日頃の応援に感謝！

凱旋



解散式でも元気いっぱい、喜びの表情を見せる



出迎えた児童とハイタッチ

素敵なバラの花を
咲かせることができた

ゴールドグランプリ獲得の快挙から一夜明けた20日、バラゼミ一行は午後4時頃十和田商工会館前に到着。小山市長ら関係者が「おめでとう！」と書かれた横断幕を手に出迎えました。畑中舌校長は拍手の中、満面の笑みを浮かべながら祝福の声にこたえていました。

同所で行われた解散式で木村学長は「日頃から応援してもらっている市民や十和田西高生、バラ焼きキッズの皆さん



十和田バラ焼きゼミナール ゴールドグランプリ受賞報告会

とき 12月20日(土) 午後2時～
ところ 市民交流プラザ
内容 ▶ゴールドグランプリ受賞報告
▶バラ焼きの無料振る舞い(200食)

バラゼミ活動報告パネル展示

ゴールドグランプリの賞状や金の箸、これまでの活動をパネルや動画で紹介します。

とき 12月20日(土)～28日(日)

※28日は正午まで

ところ 市民交流プラザ

とき 12月28日(日)～平成27年1月12日(月)

※28日は午後1時から

ところ アートステーショントワダ



のおかげでゴールドグランプリを獲得することができ、大会で素敵なバラの花を咲かせることができました。東北・福島を元気にすることができたと思っています」と、あいさつしました。

小山市長は「念願のゴールドグランプリの受賞、おめでとうございます。バラゼミが行ってきた被災地での活動や十和田西高生のおもてなしなどが評価され、素晴らしい結果につながったと思います。本当にご苦労さまでした」と、一行の労をねぎらいました。

始動

オール十和田の
心意気



郡山大会では多くのボランティアのかたが、会場案内、ゴミ拾い、出展団体の手伝いなどを行っていました。

40万人を超える来場者が見込まれる十和田大会。実行委員会事務局では、2,000人以上のボランティアが必要という見通しを立てています。



バラゼミがゴールドグランプリ獲得という最高の結果を手にし、来年の地元開催に弾みをつけた今大会。閉会式では開催地の印である扇子を引き継いだ小山市長が「今大会に負けないよう、市を挙げて熱いおもてなしをした」と、力強く宣言しました。

バラゼミの快挙が数多く報道されるとともに、多くのかたが来年のB-1グランプリの開催地が「青森県十和田市」ということを認識しました。来年は全国から多くの団体、来場者が本市を訪れることが予想されます。

先日、市内の取材先でお会いしたかたから「来年の大会で私達にできることはどんなことがありますか」と、問いかけられました。市民のかたがたが大会のために「私達ができること」を模索し始めています。本市での開催は大会史上1番小さい都市での開催。交通、宿泊、会場…、多くの課題がありますが、市民が力を合わせ、心を合わせていけば、きっと素晴らしい大会になるでしょう。

見せましょう。十和田の力を！